

※結果分析（○正答率が高い傾向にある設問内容 ●正答率が低い傾向にある設問内容）

〈学力調査〉

【国 語】

- 漢字を文の中で正しく使うことができる。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

【算 数】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めたり比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いたりすることができる。
- 正方形の意味や性質について理解している。
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することができる。
- 正三角形の意味や性質について理解している。

〈学習状況調査〉

- 「朝食を毎日食べている。」「毎日、同じくらいの時刻に起きている。」の肯定的回答の割合が高く、規則正しい生活を送っている児童が多いことが分かる。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」の肯定的回答が高く、家庭や地域での働きかけはもちろん、学校での児童同士の望ましい人間関係を構築する働きかけが功を奏していると考えられる。
- ▼「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。」の肯定的回答がやや低い。
- ▼普段（月曜日から金曜日）1日当たりの家庭学習時間が「0分から1時間より少ない。」の回答が5割弱いた。また、土曜日、日曜日などの家庭学習時間についても、「0分から1時間より少ない。」の回答が5割強いた。このことから、学年に応じた家庭学習時間が不足していると言える。

※学校としての対応・目標

- ・漢字や言葉の学習を朝学習や授業の始めなどに行ったり、基礎的な計算・作図を放課後補充学習の時間に継続的に取り組ませたりするなどして、基礎学力の定着を引き続き図っていく。
- ・授業では自分なりの考えをもつ時間を確保し、条件を踏まえながら書かせる学習活動や資料等を活用しながら発表する機会の設定を行っていく。
- ・算数では、文章問題で問われていることを確認する。また、解答する上で必要な情報をつかむ学習活動を大切にしていく。
- ・授業と関連付けた予習・復習的家庭学習の設定を行ったり、家庭学習の時間について児童に考えさせるような指導を行ったりしていく。

以上のような学校の指導意図をご理解いただき、ご家庭でもご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。